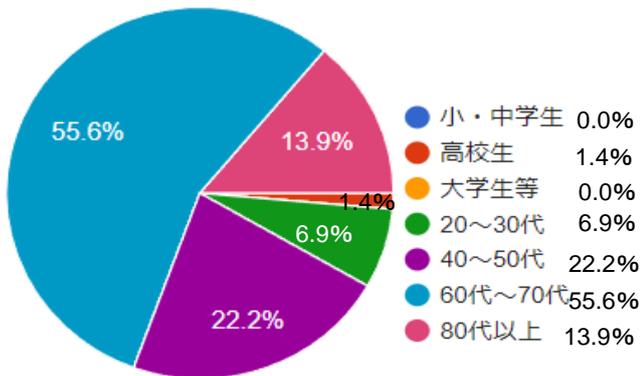


防災有田みかん会議 参加者アンケート結果

開催日 令和6年9月23日(月/祝) **来場者** 82名
会場 有田市民会館 第1会議室 **回答者** 72名 **回答率** 87.8%

内容 オリエンテーション 趣旨説明
 話題提供 和歌山県災害ボランティアセンター
 「災害ボランティアセンター大切な役割」
 実践報告① かつらぎ町災害ボランティアセンター
 「行政、専門(技術系)ボランティアとの協働」
 実践報告② 富士市災害ボランティアセンター
 災害をきっかけに動きはじめた
 富士市版「ちょっと無理が言える」関係づくり
 パネルディスカッション
 令和5年6月2日の大雨に対する有田市ボランティアセンターの活動
 有田市社協がこれまでに把握してきた防災・災害時の課題点について
 かつらぎ町・富士市の報告を深堀する

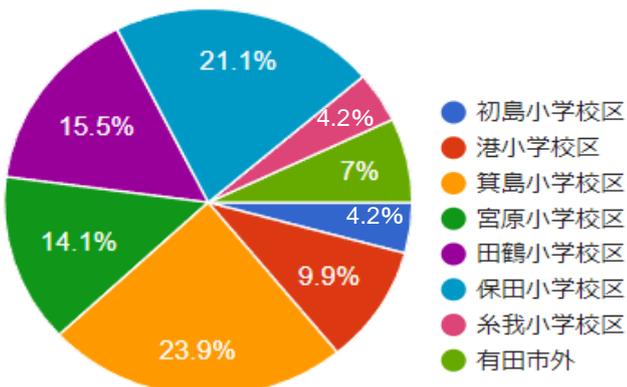
◆回答者年代 72件



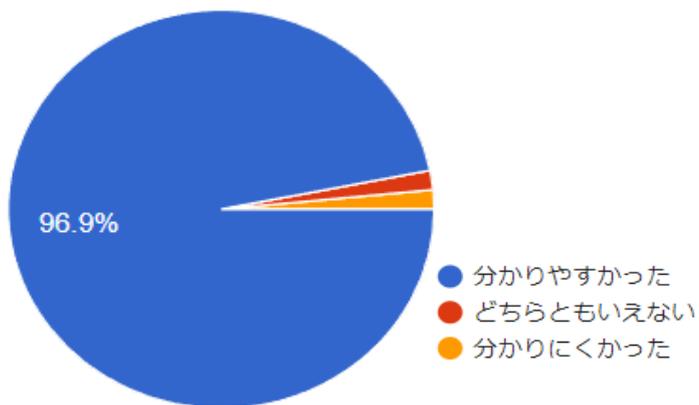
◆ご所属(複数回答) 70件

一般	20.0%
ボランティア団体所属	15.7%
自治会	10.0%
民生委員児童委員	10.0%
行政職員	10.0%
婦人会	7.1%
有田市災害V登録者	5.7%
福祉団体所属	4.3%
有田市地域福祉ネットワーク会議	4.3%
社協役員	4.3%
自主防災組織	2.9%
日赤奉仕団	2.8%
天理教災害救援隊	1.4%
食生活改善推進協議会	1.4%
遺族会	1.4%
他町社協職員	1.4%

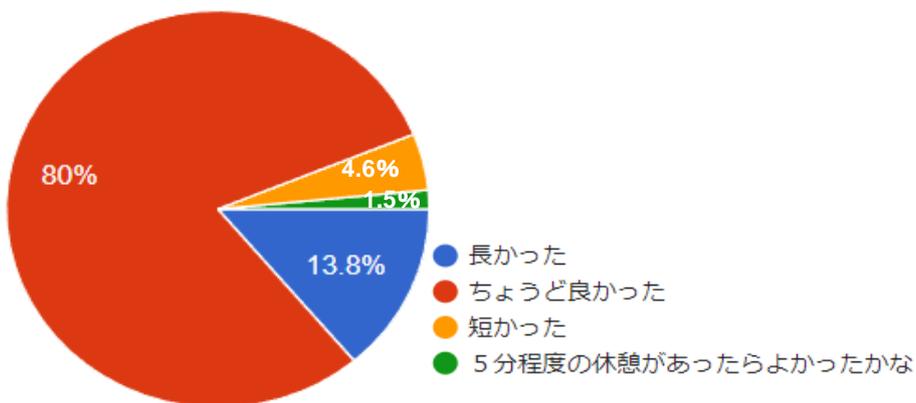
◆お住まいの地区 71件



◆テーマ設定について 64件



◆時間について 65件



関心のある課題等
どうして和を広げるか
日頃の地域活動や会合
行政の動き
障害者防災支援
地域貢献・人貢献
地域とのつながりの場をたくさん作ってほしい
有田川の氾濫



かつらぎ町社協実践報告(印象に残ったこと・感想・学びなど)

日頃の付き合いが大切

昨年の6月に災害ボランティアセンターを開設された話は参考になりました。

普段からネットワークを作っておくことの重要性を学びました。

ボランティアセンターの立ち上げの判断が早く、更に、町との連携がよく、町民の困り事に真摯に向きあっていると感じた。

短時間でボランティアセンターを設置・開所した事は日頃の意識が大事と思いました。

何より感心したのは、1月後には住まいの再建ボランティアを行い、3カ月点検までされていて素晴らしいと思いました。

小さな災害であってもボランティアのニーズがある

ボランティア活動をうまく説明してくれて、分かりやすかった

連携の大切さ つながりが大切

ボランティア参加は気軽にやればいいのだと

実家が床上浸水し家族で片づけましたが7家電はほとんど捨て、床下は何日も乾かない。専門ボランティアの知識があれば良かったのになと感じました。

5年10年後も暮らし続けるように住まいの点検や再建活動がすごいと思いました

県内ということもあり、身近な話として聞いた

話してくれる声の高さを押さえてほしい

ボランティアセンター立ち上げの早さと他団体との連携

頭が下がります

参考になりました

良かった

良かったよ

同じ県内での日頃の活動が参考になるのでは

ちょっとサポートのしくみ

災害ボランティアセンターの大事さ

SNSの発信すること：自分で出来ることも何かある

県内外からのボランティア募集

日常の活動(困りごと救け)

避難訓練のための話し合い

話を聞いて学んだこともありました

災害VCをまず開設したってことが良い機会になったんだろうと思います

「ちょっとサポート事業」いい取組だと思った

話がよかった 活動が良い

有田市の災害件数より少なかったがボランティアを入れたこと

今後災害が発生した時 少しでも良くなるようにするという思いが出ていた

行政・専門ボランティアとの協働はとても良い

ちょっとサポート事業の日頃の取組が印象に残りました

地域のつながりとボランティア・専門の方が大事

人とのつながりの大切

備品倉庫は橋本市にある

出来る時に出来ることを出来る人がする

できる事ができる時にできればいい。学びました。

できる人ができる事をできる時にすれば良い

どちらも社協の立場・認識が一般に知られていないと感じた

今回参加して改めて防災会議の必要性があることを感じました。

ボランティア活動の話聞き良かったです

かつらぎ町社協実践報告(印象に残ったこと・感想・学びなど)

困ったことをお願いしますとなかなか言えないと思っていましたが言えるようにしようと思いました

町のネームでの住宅点検など
その後のサポート支援の大切さ

日頃から多くの地域の方とつながっているからこそ、気長にきめ細かい支援活動ができたのだなあと思います

専門ボランティアの立ち上げすごいですね

ふだんからの活動、サポートが大きな災害が発生したときにプラスにつながるということから、今、何かすることが大切だと感じた。また、頼るときは頼る、力を借りるときは力を借りると自ら人をお願いするからこそ進むのだと思い、日常でも活かしていきたい。

広くボランティアを募ったことで多くのボランティアが集まり、専門ボランティアの知恵によって適切な対応がとれたということ

スムーズな活動運営、早い対応

地域のつながりの大切さ

住民の状況把握

情報の把握にメール・SNSを活用を有田市も活用すべき

5年10年住み続けるために、住居の知識、後の点検が大事である
新たな知識を得ることができました。実践してくれた人の話を聞くこと、今後災害が生じた時に役に立つと思います。

「微力であるが無力ではない」という言葉、勇気をもらいました。

被災者がSNSで発信したことですぐにボランティアの人たちがかけつけてくれた

学びが実践につなげれるヒントになるように

ヘルパーの仕事でない「お掃除」等のちょっとした仕事やボランティアの活用体制で日頃からつながりがあること。また、水害の際「乾燥が大事」というポイント、専門だけでなく出来ることを出来る人が出来るときにすること基本的なことを学ぶことができた。

和歌山県内ではあるが、私はかつらぎ町の被害を知らなかった
い日ごろからのつながりが大切だと感じた

初動が早かったと感じた

その後も再建のための3カ月点検など動きが重要だと思った

乾燥が必要と知れました

地元とは少し離れた地域の話聞いた

一夜の内に準備ができたのはすごいと思う

暮らしを守るため 心を寄せるために人と人をつなぐ方法を学びました

分かりやすかった

専門ボランティアの重要性わかった

「とにかく乾燥！」はじめて知りました

専門ボランティア、自分にもできること、やれそうなこと考えます

富士市社協実践報告(印象に残ったこと・感想・学びなど)

声を掛けることが大切

被災者への戸別訪問で、大丈夫を鵜呑みにしないという考えは素晴らしいと思います。ただ、大規模な災害時には、どこまで深く関わればいいのか、バランスが難しいと感じました。

- ・これまでの被災経験や福祉課題や反省を踏まえ、改善していった所が良い。
- ・高齢者みまもりシールが分かりやすくてよい。

「大丈夫」を信じてはダメ！

被害規模の大小に関わらず被災した人に寄り添う大事さ

福祉＝防災ということを勉強できました

見守りの大切さ つながりが大切

地域のつながりの大切さが良くわかりました

ひとり暮らしの母を見守ってほしいと思います。反対に自分の近くに住む高齢者の方を見守っていかねばならないと思いました。ただきっかけがつかめない。高齢者見守り連絡所のマークは有効だと思いました。

災害に大きいも小さいもない

富士市災害ネットワーク会議感心しました。ネットワーク大切ですね

(能登と比べて)「大丈夫」という言葉が印象に残りました

他県の防災及び支援を聞いて有益であった

事例はよかった

困りごとを被災者の方は言わない

「大丈夫」を聞く力

頭が下がります

参考になりました

良かった

良かったよ

「ちょっと無理が言える」←互助と共に「近所」も必要

ちょっとムリが言える関係性づくり

各自治区の方と一緒に各家庭を回ることが大事でいろいろ困っていることを聞けるということ 地域の人がつながっておくこと

自治会との家庭訪問

ふだんからのつながり

自分の土地に災害がおこったらと思うと・・・

助け合いが出来るでしょうかと

「大丈夫」は大丈夫ないことも多い

話がよかった

活動が良い

一人暮らしの方は声を出さない

共助の役割が大きかった

地域の手助けが必要(見守りの人が必要)

今後災害が発生した時 少しでも良くなるようにするという思いが出ていた

「助けて」と言えない人がいる 心に残りました

高齢者見守り連絡所とても良いことだと思います

地域活動やつながりが大切

ボランティアがあれば何か出来る

大丈夫という言葉信じない、ことばの中にある心

地域の人との関わりがあればこそボランティア活動ができて良かった

富士市社協実践報告(印象に残ったこと・感想・学びなど)

地域の人が地域の人をつないでくれる

大丈夫という言葉に安心しない

高齢者みまもり連絡所必要かも？

どちらも社協の立場・認識が一般に知られていないと感じた

今回参加して改めて防災会議の必要性があることを感じました。

富士市から来てくださり、ボランティア活動の話聞いて良かったです

遠い所をお越しくださっていいお話を聴かせてくださってとても参考になったことがたくさんありました

人の言葉の裏 本当に求めていること、気遣いをしていることを解きほぐすことの難しさと大切さを地域の人からのアプローチによる解きほぐし

人とのつながりが大切だとしみじみ思いました 感動しました

地域活動やつながりの大切さ

「大丈夫」というコトバをうのみにしない。

寄り添うということをふだんから地域の人、周りの人などと関わっていきたい。

本当は支援が必要なのに声を上げられず見逃されてしまう被災者が多く、日頃の地域をつながりによって気づけるケースもあるということ

つながりの大切さ

普段のつながり ネットワーク

人の真の気持ちをくむ

大丈夫という言葉をやのみにしない。平時から地域でコミュニケーションをとれる関係性を築くことの大切さ、気かけられる存在になりたいと思いました。人のつながり、子どもたちのチカラ、勇気づけられました。有田もあたたかい市になってほしいと思います。

地域とのつながりが実践につながる

助けてほしいと言える関係

有田市と富士市ももうつながりました

「大丈夫を信用しない」 考えさせられる言葉でした

「大丈夫」ということをうのみにしない。当事者の話を傾聴し、実態・気持ちを見極めることが重要ということ。日頃から26地区にボランティアや地区の思いを聞いてくれる人と社協の地区担当がいる関係性。

平常時からのつながりが大切であるということを改めて学んだ

分かりやすい説明や進め方でした

人とのつながりの大切さがとても伝わってきました

社協が認識されていなかった事実への反省

「大丈夫」という言葉を信じない

地域の人とのつながりによりボランティアを受け入れてくれた

「助けて」と言えない人がいる

和歌山ではきくことのできない貴重な話を聴くことができた

地域に気にかけてくれる人がいる

すごく良いお話でした

ふだんから気かけ合える人間関係を作っておきたい

富士市の方の話感動しました

リーダーにふさわしい人

なぜかお話を聞いていて涙が出そうな程心がふるえました。

今の気持ちを表わしていただいている様な気がしました。

分かりやすかった

富士市社協実践報告(印象に残ったこと・感想・学びなど)

ネットワークがしっかりしていた
リーダーシップすごい

「大丈夫」をうのみにしないこと
声を出せない出さない人が多いこと、心にとめておこうと思いました

パネルディスカッション(印象に残ったこと・感想・学びなど)

普段からの地域・行政・自治会が一つとなって福祉活動をするのが大事
災害ボランティアセンターの重要性
行政・社協・地域の連携の大切さ
災害時には地域とのつながりが大切だということが勉強になった
災害の流れが分かりました
学ばせてもらいました。人とのつながりの大切さ、公共とのつながり
質問者の気持ちよく分かります。出来る人が出来る時にできることをすればよい。SNSの活用、早い、分かりやすい。
日頃からとなり近所がなかよくすることが大事だと思います
地域の人とのつながりが大切と痛感しました
困った時に「助けて」と言える環境が大事
より身近なテーマに絞った方が分かりやすいと感じた
行政の動き、各団体への連携を知りたかった
日頃からの地域の活動が重要(人と人とのつながり)
つながりの大切さ
参考になりました
つながりもつ大事等 助け合う心
またゆっくりと(笑)
日ごろのつながりの大切さ
行政と自治会の関係の情報がうまくいっているか
平常のつながりが大事
SNSでの発信 伝える活動
多くの人とつきあう
平時の活動が大事
今後有田市の活動が良くなるように思います
災害時はできることを各自行う 自分も出来る範囲でしようと思った つながりの重要性有
となり近所の人とつながっておく
社協→ボランティアセンター登録→社協を思い出してくれる
みんなで出来ることを増やしていこう
普段のつながりが大切
勇気ある高校生に感動
自分が被災したらと思うと参考になりました
立上げのスピード感・必要性の話
自分が何が出来るのか もう一度考えてみます
日常のつながりを大切に
内か理由があるから今日この会場に来てるということから
防災に興味がある人もいれば、私の場合はボランティアはもちろん父の講演を聞きたいから来た。色んな理由があっっておもしろいです。
平時から地域の中で様々な交流をもつことで、災害時の対応にもつなげられるということ
学びをいただきました
みんなの「つながり」を大切にする
コーディネーターの方の「しゃべり」がよかったし、面白かった。熱があった。
「あなたがいてくれるだけで」感動しました。
日頃から自治会・近所のつながり、その後社協との共有が大事
両社協の活動や、両名の現場での声を知ることができて良かった

パネルディスカッション(印象に残ったこと・感想・学びなど)

災害ボランティアセンターを实践した事により得たものがある。

SNSで発信してくれた人があった、つながりがあった。

行政からの情報を受けた中での必要性を感じセンターを立ち上げた。

自治会の協力・協働、23区小学校にすべて担当者を置き話し合う機会をつくっている

連携を取ることの大切さを実感した

素晴らしい高校3年生がしっかりしていて嬉しく思いました

普段から近所の人とつながっていることが必要

分かりやすかった

つながり大切さ再認識

有田市社協からの課題提起(印象に残ったこと・感想・学びなど)

和を広げる

課題を明確できたなら、少しでも解決に取り組んでいただきたい。社協は多忙なので、支援団体などの連携を強める必要があると思う。

避難行動につなげる広報手段 意識醸成

防災・災害時の課題が多くあるということが分かりました。

去年の災害の動きが良くわかりました

地域コミュニティ 日頃の人とのつながりみまもり

避難訓練をもっと徹底する必要があると思う

台風や地震の心配がある和歌山では、普段から心の準備・必要物資の備えが大事

防災ボランティアセンターについて市民にもっと周知させてください

もう少し各団体との話し合いが必要

社協の活動の周知

頼りにしています

地域の避難所の確認等つくっていただきたい

有田市の被害に遭った人たちの支援活動についてのことをもっと知りたい

もう少し有田市のこと言ってほしい

またゆっくりと(笑)

普段のつながりの場 日常の付き合いの大切さが大切

一人ひとりの「困った」が気軽に言えること

災害時 日常出来ないことはできない

学んだことを出来るように日頃から心がけたいです

課題は多いですが一緒に頑張りましょう

6/2の災害に関する活動が6/14以降は問題有りですね

2人の先生の話聞き、有田ではどのくらい活動できたのか気になります

やはり住民によく知られるよう進めていく

あまり知らないと思う

避難しないという選択者からの声です。食べるものを持参してまで避難所へ行きたくない自宅に居ます。おにぎりだけでも提供してもらえないでしょうか？

災害ボランティアセンターの事についてもっと詳しく知りたい

地域のつながり

民生委員・自治会・各種団体等の連携活動が分からない

災害ボランティアに登録されていなくても活動の様子が分かれば良いと思う

避難行動に不安があります

災害ボランティアセンターがあること・どこにあるか知らなかった

市民それぞれのアンテナの感度の差や危険度、理解や興味の差

そもそもの有田市の防災計画について

次の機会にはぜひ災害ボランティアセンター設置してください

微力ですができる事ボランティアしたいです

私も有田市に引っ越してきて、1年半経つが実際もし災害が起きたらどこに行ったら良いなど、分かってない。なので会社でいろんな活動(知る)をしてみたり、上司の話も聞く時間が欲しい。

有田市では災害発生時の対応や地域での連携がまだまだ不十分だということ

組織運営の活発化

少しでも協力させてもらえたらと思います

市長が変わる今、避難施設を要望すべき時

福祉ボランティア設立し、登録し、普段の活動としていけば良い

有田市社協からの課題提起(印象に残ったこと・感想・学びなど)

災害ボランティアセンター 一度開設してみてもは？
やってみて 失敗例をたくさん洗い出した方がいい

ボランティアセンターを立ち上げる意味、自治会の意見も大事。担当者だけが大事と思っ
ていても出来ない。日頃からの福祉、関係性へのアンテナを張ることが大事だと改めて実
感しました。

災害ボランティアセンターがなくても活動支援、地域の人たちの意見をいつも聞いてくれ
ている社会福祉協議会が大事 困ったが気軽に話し出来る場 みんなで助け合いをしたい
です

災害ボランティアセンターの立上の事前準備を地域の団体や自治会等々と丁寧に共有、意
見交換されていると思います。
若手の高校やそれ以外の方々も役に立ちたい方もいらっしゃると思うため、いかに地域
を知る、その方々の気持ちを知り、活躍の場を提供・動かすことが重要であると感じま
す。私たちもできることからやっていけたらと思っています。ありがとうございました。

質問の時の住民の声、自分も何もできないからと参加する声をあげるのに勇気がいるなあ
と思います。とにかく色々な場に参加したり、話をしていくのが大切だなと思いました。